



小平六中だより

令和5年度 第7号
発行 令和5年11月17日

「職場体験の取組について」

担当 久保田 隆夫

10月31日(火)からの3日間、2年生はキャリア教育の一環として職場体験学習を行いました。4年前まで以前の職場体験学習は、5日間実施されていたものの、コロナ禍のために中止が続いていました。そして、今年度3年ぶりに再開、3日間の実施となりました。本校の2年生の約220人の生徒が小平市及び近隣の68の事業所のご協力を得て、貴重な体験をさせていただきました。

まず、事前に9月中旬にハローワークの職員の方を本校に講師としてお招きしてマナー講座を開催、また事業所ごとのグループ会議を数回行って訪問計画などを立ててきました。

実際に、10月31日午後の各事業所に事前訪問としてご挨拶に伺って仕事の内容などをお聞きし、11月1日～2日の2日間は、自宅から

直接事業所に向かい、全日仕事をさせていただきました。六中の教員も体験の様子を見に事業所を伺いましたが、ふだんの学校生活では見られない生徒たちの生き生きとした表情を見ることができました。これからの進路選択の役に立てば幸いです。しかし、有意義だった体験の反面、持ち物などのルール違反もあり、今後への課題も見つかりました。

ご協力いただいた事業所の皆さんには、ご多用中にもかかわらず、本校生徒のために温かくご指導していただき、ありがとうございました。



「避難拠点開設訓練の実施」

生活指導部担当 小池 直樹

10月20日(金)に2年生では、小平市役所防災課の協力のもと、避難拠点訓練を実施しました。当日は、マンホールトイレ設置訓練や首都直下地震についての動画の視聴をしました。



天災は、いつ起こるか分かりません。最近では、首都直下型地震・南海トラフ地震などの大地震とつながる可能性がある地震も各地で起きています。自分を守るだけでなく、大切な家族や地域の方と協力して助け合うことが大切になります。

災害発生時に中学生の役割は、大きいものがあります。そのための知識や技能を習得して、非常時の際は地域で活躍する六中生が一人でも多くいることを願っています。さらに、現在、六中校区の地域が連携し、地域に即したよりよいものになるように、避難所マニュアルも作成し、検討を重ねております。

「福祉体験の実施」

進路学習部会担当 山下 拓也

10月31日(火)に1年生は、福祉体験活動として車椅子体験、アイマスク体験、グループワーク、福祉職場についてのyoutube上映を行いました。

小平市福祉園との交流を通して、体験から目の不自由な人や足の不自由な人の苦勞を知り、サポートが大きな助けになることを理解しました。

また、福祉職場について視聴して、福祉は「人の役に立っている」を実感できるやりがいのある仕事だと学ぶことができました。

この経験を生かし、地域との交流や社会貢献の意識と行動力を高めてほしいと願っています。



「小中連携の取組について」

副校長 宮崎 忍

今年度は小平第十一小が中心となり、小平第七小学校と3校で小中連携の取組を6月・8月・11月の3回第十一小学校で行っていました。

今回は、「書くこと」についての工夫した授業公開や互いの児童・生徒の実態や学習方法、課題を共有しました。教科等で新たな発見やすぐに活用できる方法を一緒に考えることができ、相乗効果がありました。今後に生かしてまいります。

～10・11月の活動～



【合唱コンクールの当日】



【ミニ生徒総会・生徒会活動】



【スキー移動教室の準備が始まりました】



【学校の花壇の植え】

生徒の活躍

〈税の作文〉 東京都立川都税事務所長賞 2年生徒

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞 2年生徒

一般社会法人東村山青色申告会 会長賞 2年生徒

〈税の標語〉 東村山法人会会長賞 1年生徒

〈サッカー部〉 中学校サッカー第10支部新人大会 第3位 東京都大会出場

〈柔道部〉 令和5年度渋谷区明秋季柔道大会 中学2年生の部 優勝 2年生徒

〈水泳部〉 第31回東京都市外部ブロッククラブ対抗戦 13-14歳クラス男子 200mバタフライ 2位 1年生徒

今月（後半）の主な予定

23(木) 勤労感謝の日

29(水) 各種委員会

30(木)～12/8(金) 三者面談

来月の主な予定

15(金) 1年保護者会及びスキー移動教室説明会(体育館にて)

2年保護者会(オンデマンド)

22(金) 美化活動

25(月) 終業式

26(火) 冬季休業日開始

28(木) 学校閉庁日

令和5年12月28日(木)～令和6年1月3日(水)の期間は、学校の敷地内に入れません。